

龍西だより



令和5年度 学校だより
第24号
令和5年12月13日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

かがやき学級「ハッピースマイル・アートギャラリー」



12月8日(金)から12月11日(月)まで、熊本城ホールのロビーで「ハッピースマイル・アートギャラリー」が行われました。これは、熊本市立小中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童生徒の皆さんの作品展です。

本校のかがやき学級は、左の写真のように『ボンドアート「ほしいクリスマスプレゼント」』というテーマの作品を出品しました。段ボール紙に描いたクリスマスツリーに、それぞれのほしいプレゼントをボンドアートで制作し、まとめたものです。縦の長さが2m以上ある大きな作品です。お便りがモノクロ印刷で残念ですが、とてもカラフルな作品です。

制作途中の授業を見せていただきましたが、みんな熱心に自分のほしいプレゼントをイメージして作っていました。白色の木工用ボンドに黒の塗料を混ぜ、絵の縁どりを黒のボンドで作るのが特徴です。作品展が終わり、校内に掲示してありますので皆さんご覧ください(授業参観前にお便り配付できませんでした…)

人権週間(12/4~12/10) 3年生の学年集会より

12月5日(火)に学年集会を行いました。先週が人権週間でしたので、学年によっては人権に関する話がありました。3年生の学年集会の話を紹介します。

学年主任の満永先生が、『おもいやり算(人を笑顔にする算数)』について話をされました。このおもいやり算は、10年近く前にACジャパン作成のCMとして流れていたものです(YouTubeで「おもいやり算」と検索すると商業動画を見ることができます)。

「思いやり」は、行き過ぎればおせっかい、何もしなければ無関心になってしまいます。このCM作品では、その難しいテーマを、算数の四則をアイデアに「おもいやり算」を使うと、誰もが笑顔になれると提案しています。

【+】 たすけあうと 大きな力に 【-】 ひきうけると 喜びが生まれる

【×】 声をかけると ひとつになれる 【÷】 いたわると 笑顔は返ってくる

下の写真は、3年生廊下の掲示板です。「おもいやり算」が3年生を中心に、学校全体に広がるといいですね!

